

自分の知を成長させよう
良
い子が山
ほどいる学校

学習指導だより

令和2年2月18日

第11号

馬頭中学校学習指導部

ただ今勉強中です

「ただ今勉強中」は「学校や家庭での毎日の学習を意識化・習慣化する目的」でネーミングしました

昨年この時期に話題にしましたが、生き方に生かせると思いますので再掲載します。

ファースト・ペンギン

ペンギンが氷の上をうろうろしているのを見たことがありますか。水の中に飛び込むそぶりを見せながら、なかなか飛び込まない。飛び込むかと思うとやめてしまう。お互いに、「お先にどうぞ。」と譲り合っているようにも見えますが、あのペンギンの仕草には、自然界における生存をめぐる厳しい条件が隠されているのです。

南極に暮らすペンギンたちは、海に飛び込んで食料となる魚を捕ります。ところが、海にはシャチやアザラシ、オットセイなどの肉食獣がペンギンを狙って海の中で待っている危険性があります。魚は食べたい、でも敵がいて食べられてしまうかもしれない。ペンギンはいつも氷の上で右往左往しています。



そんなペンギンの中で最初に飛び込むペンギンが、「ファースト・ペンギン」と呼ばれています。他のペンギンたちは、最初に飛び込んだペンギンが無事にエサを捕って帰ってきたのを確認すると、次々と海に飛び込むのだそうです。最初に飛び込むペンギンは怖くないのでしょうか？ 最初のペンギンは、絶対に割が合わない役目だと思います。しかし、皆が皆そう思っていると、全員工サにありつけません。みんな、飢えて死んでしまうかもしれません。誰かが1番にならなくては、2番目、3番目はないのです。

これは、ペンギンの話ですが、人間に例えるとどうでしょうか？

幕末の長州藩には、「ファースト・ペンギン」がたくさんいました。江戸幕府の法律を犯してまでペリーの黒船に単身乗り込もうとした吉田松陰、松陰の下で学び、命をかけて江戸幕府を倒し、新しい世の中をつくり上げた高杉晋作、伊藤博文、井上馨たちです。彼らは、正に勇気を持って事に当たった「ファースト・ペンギン」でした。

さて、私たちの生活の中にも、時に、海を前にしたペンギンのような場面があります。幕末の偉人たちのように命をかけるようなことではありませんが、例えば、クラスの中で係や何かを決める時、どうしても友達に意見をしなくてはいけない場面、何

か新しいことにチャレンジする場面など、最初に言葉を発したり、行動に移すことはとても勇気がいること、大変なことだと思います。みなさんは、今、中学生です。これからの長い人生の中には、この「ファースト・ペンギン」の精神を持ってチャレンジしなければならない時がきっとあると思います。そんなときには「行くぞ！」「やるぞ！」といった決意が大事です。

みなさん、まず一歩前に踏み出すこと、ぜひチャレンジして「ファースト・ペンギン」になってみてください。

頑張れ! 3年生!

完璧を目指すより、まずやり遂げろ



「Done is better than perfect.(完璧を目指すより、まずやり遂げろ)」とは、フェイスブック創設者のマーク・ザッカーバーグの言葉です。上のイラストがフェイスブック社のオフィスに飾られています。クッキーのイラストが2種類。「Which one would you prefer?(どちらがお好みですか?)」

左の絵は「材料が足りないからクッキーを作れない。(だから何も食べられない)」。

右の絵は「不完全(バターが入っていないなど)でも、チョコレートチップ・クッキー(が食べられる)」。材料が足りない。時間がない。腕が足りない。その通りなんだろうが、そう言っていてはいつまでたってもクッキーは食べられません。まずはクッキーを作りましょう。話はそれからです、ということをフェイスブック社はスローガンにしているそうです。

さて、3年生の栃木県立高校一般入試も目の前です。まずは、目の前の問題集や参考書を(完璧ではなくてもよいから)やり遂げることです。それが合格の近道です。また、試験当日はできない問題に手こずるよりは、自分が解ける問題を確実に抑えることが大切です。自分の今持っている力を発揮すれば、必ず皆さんは志望校に合格できます。

Done is better than perfect!